

あかけ様で倉り業40周年!!

Thank you!!
Anniversary
40th

山のはちみつ屋新聞

No.44 春号 2017年3月 発行 有限会社ビー・スケフ。

ごあいさつ

空から舞い散る白い花、やがて溶けては色づいて。

今年もまた、芽吹きの季節が訪れました。

みなさま、お元気でお過ごしですか？



かくのだて
仙北市 角館

1700年代に流行
した『享保雛』や
『古今雛』などのさい
雛人形も見られます!

ここ、田沢湖と同じ仙北市にある角館町。『みちのくの小京都』とも
呼ばれ、武家屋敷もすらりと立ち並ぶ歴史感じる町ですが、この時期は
毎年代々大切に受け継がれてきた雛人形をはじめ、角館らしい押絵雛や
土人形などのお雛様を町の蔵やお店で展示する町歩きイベントを行っています。
予約が必要ですが、ガイドさん付きのプランやお雛様にちなんだお料理などもあるそう!
お殿様や武家・商人・庶民が当時楽しんでいた雛飾りを、風情ある町並みをめぐり
ながら見学してみてはいかがでしょうか?また4月下旬からは『角館桜まつり』も始まりますよ!さ
あたたかな春の訪れを感じに、ぜひ仙北市に遊びにいらしてくださいね♪

雛人形といえば昔は嫁入り道具のひとつとされていましたが、この春
山のはちみつ屋でもお嫁さんになるため、寿退社するスタッフが2人います!✿
晴れの日に出すといいとされるお雛様のように、晴れの門出を心からお祝いする
山のはちみつ屋スタッフ一同です!おめでとう!これからもお幸せに✿



ストーリー 新商品ハチミツ甘酒たぬじょう未必きよ

山のはちみつ屋
秋田県産ブランド米
いよいよこの春、『国産はちみつ』×『あきたこまち』を使ったオリジナル甘酒が新登場!!

製造

新潟県

×古町糀
製造所さん

△醸造屋チームのみなさん

お客様に喜んでもらえる、そして元気になって
もらえるようなはちみつの新商品ができなか?

これまでにもはちみつを使用した加工食品やほかの企業さん
方とコラボした様々な商品をお届けしてきた蜂五郎は
こと西村社長。常にその頭の中は『お客様の笑顔』
を一番に思い描いています。

そんな蜂五郎が今度は近年話題の
健康志向・発酵食品ブームに着目!!

『糀』と『はちみつ』の持つ力で
皆さんの健康のお手伝いができるかも!!

こうしてみつばちたちがせせと
集めてくれ、私たちが採った
愛情たっぷりの田沢湖産
はちみつを使った
『ハチミツ甘酒』が
誕生しました。

元々銀座で経営していたおむすび屋を営む中で
出会った糀の奥深さに心惹かれ、米どころ新潟に
糀専門店「古町糀製造所」を開業した株式会社和僑商店
さん。そして古くからお酒や味噌などの醸造蔵が連なる
町中の、今代司酒造さん・峰村商店さん・越後味噌醸造さんら
老舗醸造屋さんの先頭に立ち、町おこしのために
チームで力を合わせて製造販売をされています。

そんな古町糀製造所さんに、

うちの(はちみつを使った、おいしい)甘酒を作ってくれませんか?と

ご相談したところ、快く引き受けくださったのでした!糀
×酒×味噌という、日本伝統の発酵食企業さんに
秋田で頭を悩ませていた蜂五郎も、さらにご縁を頂いて。

日本古くからの温かや
どこか懐かしい味わいが
はちみつの優しい甘さと香りの
奥に込められています。

PR

株式会社せん
×あきた舞妓さん

地元秋田を中心に「会える秋田美人」として秋田県の
魅力を観光イベントやおもてなしを通じて情報発信する活動をされています。
「飲む美溶液」と言われる甘酒のイメージにぴたり!といひうめいた蜂五郎は
すぐさまオファーの電話を入れ、これまたすぐに快くOKを頂くことができました。
実は元々株式会社せんの社長さんとご縁があり、

秋田を応援してくれている彼女たちを、私たちも応援したい!そして
ハチミツ甘酒を飲んでさらにキレイに元気に元気張ってほしい!!

撮影会
様子は
ブログを
見てね!!

両手に花と
ハチミツ甘酒!!
あらも元気にならび!

という蜂五郎の想いもあって、今回のコラボに至りました。
『お客様に喜んでもらえたときにやりがいを感じます。』と
答えてくれたあきた舞妓の小代美さんと紫乃さんの言葉
からは、蜂五郎も目指す商品づくりと通じるものを感じました。

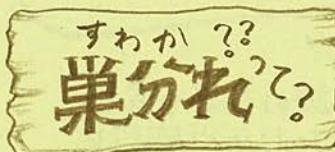
イメージ撮影では、
あきた文化産業施設
『松下』さんのお座敷や、
その中にある立ち飲みバー
『松下酒房』さんをお借り
しましたよ
これなら喜んでもらえるねと蜂五郎も笑顔になりました!!



新生生活の春

みつばちたちのおひっこし

これから進学や就職など、新生活を始める方が皆さん周りにもいらっしゃるかと思います。みつばちたちにとっても、これから暖かい春に向かってどんどん家族を増やし、せまくなったりおうちから心機一転おひっこしする季節！そんなみつばちの『巣分れ』についてご紹介します。



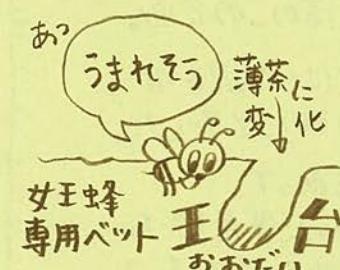
養蜂業界ではこれを「分蜂」と呼んでいます。

みつばちたちが活発になる時期に巣の中で花の蜜を貯えたり、子供を育てたりと…それらのための部屋がなくなってくると

「働きたいのに棲みかけるスペースがない！」

「新しい女王蜂を育てて、みんなでおひっこししよう！」と準備を始めます。

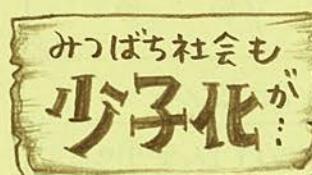
巣には女王蜂が一匹しかいることができないので、新しい女王蜂が誕生しようとになると、今までそこに住んでいた約半数の働き蜂を引き連れて元々の女王が新しい住み家を求め、古巣を飛び出して行くのです。



先發で偵察係が住み家に良さそうな物件を探しにていき、発見したら仲間に報告!!

8の字ダンスは方向や距離を知らせる合図♪ DANCING♪
こうして無事に移住先が決定！元の住み家と新しい住み家で、それぞれの女王蜂とみつばちの新生活が始まるというわけです。

ちなみに 約半分になった元の巣でも、またみつばちの数が増えていって、はちみつ屋さんに巣分れて、その後もそれを繰り返し…と、年に数回分蜂していきます。



養蜂家の中にはこの分蜂の予兆や習性を利用してみつばちの数を増やす仕事をしている方もいますが、それが近年は悪天候などの影響で女王蜂や子供の数を増やせず、みつばち不足が続いている。

果物や野菜農家さんのところで受粉させたり、私たち山のはちみつ屋のようにはちみつを探る仕事にも働き蜂が欠かせません。今期はみつばちたちが少しでも子育てをしやすい環境になってくれたら…と願うばかりです。

おひっこしといえは…

凹のはちみつ屋のホームページ&オンラインショップがリニューアル予定

うちのお店でも遠方なので直接おなに行けない「凹」というお客様のために、通信販売やネットショップでの注文を承っていました。そのオンラインショップがこの度新しく生まれ変わることになりました！まだおひっこし準備中なのですが、お店の素材や温かいイメージを取り入れて、これまでよりも使いやすくなるように作って頂いていますので完成をどうぞお楽しみに!!



感謝!

旬刊旅行新聞

第37回 プロが選ぶ観光・食事・土産物施設100選



山のはちみつ屋 がなんと!@@

「土産物施設部門」全国第10位

にえらばれ
ましたー!!

推薦していただき、ありがとうございます!!

毎年、全国各地の旅行会社さんへ向けてのアンケート調査から、体験施設の充実や食事メニュー、オリジナル商品開発など…様々な観点から工夫が見られる優れたお店や施設を“プロの目線”で厳しく評価し100選へ認定する、旅行新聞新社様主催のこの企画。

実は6年ほど前から100選の中には入れて頂いており、土産物施設部門においては秋田県で唯一の入選ということだったので充分ありがとうございましたが、こうして“入賞”したのは初めてのことでした。

地元紙『秋田魁新報』への記事掲載やラジオで放送されたということもあって、『新聞に載ってたね!』『ラジオで聴いたよ!』と、お客様やお店にいらっしゃった業者様方から度々お声をかけて頂いたり、SNSのコメントやお店までわざわざお祝いのお花を送って下さる方までいらっしゃり…

こんなにも多方面の方々から関心を持って頂けるとは思ってもみなかつたので、予想外の反響にとても驚き、改めて『全国10位』に入賞したことの重大さや周囲の方からのお店への愛情が感じられて、光栄な気持ちや嬉しさ、ありがとうございますがより一層深く心に込み上げてきました。

ご愛顧下さっているお客様、支えて下さっている企業の皆様、いつも本当にありがとうございます…!!

蜂五郎が玉川温泉へ続く道沿いの林の中、簡易テントの店構えから1人で販売を始めた山のはちみつ屋創業・昭和52年より今年で40年。『笑顔と健康』をモットーに、お客様が楽しめるお店作りはまだまだ道半ばです。スタッフもその想いを受け継ぎ、これからも一丸となって精進してまいります。どうぞこれからも山のはちみつ屋をよろしくお願ひいたします!

スタッフ紹介

これで楽しんでる

①趣味 ②オス

のはスタッフだけ? それでもやります今回はこちらのふたりをご紹介!!
スメ商品 ③一言メッセージをお聞きしました!

高橋 周平です!

- ①古着屋へ行くことです。
- ②フローリングキャンティのどにいいです。
- ③たくさんのはちみつがあつて楽しい戯場です。



武藤 里美です!

- ①買い物
- ②みっちゃん焼 マスクットキャラクター『みっちゃん』のかわいい人形焼です!
- ③自分にできる事を一生懸命頑張ります!!



編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます!!

山のはちみつ屋新聞44号はいかがでしたか? 昨年は豪雪地帯のここ、田沢湖でも、雪の少ない珍しい年でしたが、今回はもっさりと降り積もり、『冬らしい』季節を過ごしました。お店の雪かきはもはら蜂五郎の役割なので、おかげ様でガガガガガ…今年は暖房とローターがうなった冬になりました。みっちい



親戚の蜜峰屋で養蜂の修業をし、そこから独立して1人玉川地区で小さなテント販売からこの蜂蜜屋を始めて早40年がたちました。今では従業員も30人に増え、地元から全国の皆様に支えて頂きここまで成長できたことは、私にとって誇らしく感謝の念にたえません。目指し続けてきた『お店にいらっしゃったお客様を皆笑顔にしてほしい』という想いも、今回土産物施設10位に選んで頂き、益々励みとなりました。今後とも何卒宜しくお願ひ申し上げます。蜂五郎

山のはちみつ屋新聞発行 山のはちみつ屋 & お菓子工房 & ピザ工房 (有)ビー・スケップ



0120-038-318 bee@bee-skep.com

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字石神163-3 おトクな情報を毎日配信中!!

SNS

Facebook

Twitter

CHECK

Click